

(2007年9月号)

目 次

繊維情報

・2007年7月の繊維品輸出概況(繊維品全体・原料・織編物・主要二次製品)	1
・2007年6月の繊維品輸入概況(繊維製品計・糸類・織物類・衣類)	11
・アジア 中 国 2007年1-7月の繊維品貿易概況	13
台 湾 2007年1-6月の繊維品貿易概況	17
インドネシア 2007年1-3月の繊維品貿易概況	20
タ イ 2007年1-6月の繊維品貿易概況	23
・米 州 米 国 2007年7月の繊維品輸入、中国とベトナムの伸びが顕著	25

組合関係の会議と催事

・(2007年8月)	28
------------------	----

お知らせ

・繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と「保険期間延長手続き」について(輸出)	29
・包括保険(訂正内変期間通知)について(輸出)	30
・10月の輸入通関手続相談窓口開設日(輸入)	31



2007年7月の繊維品輸出概況

・繊維品輸出概況

- 前年同月比 1%増の 7 億 4,189 万ドルと微増 -

2007年7月の繊維品輸出は、ドルベースで、前年同月比 1%増（前年 1 - 7 月比:4%増）の 7 億 4,189 万ドルと微増推移となった。

なお、為替が 2006年7月の 115.67 円に対し、2007年7月は 121.59 円と昨年同月に比べ約 5%の円安となっていることから、円ベースでは 6%増（同 8%増）の 902 億 700 万円と今年に入って増勢が続いている。

< 主要地域・国別輸出 >

7月の輸出を主要地域別に見ると、全輸出の 73%を占め、わが国の輸出動向を左右する最大市場の東アジア向けは 3%減と前月に続き減少推移となった。一方、西アジア、欧米の純輸出市場は、為替のフォローの風もあり、今年に入って引き続き好調を維持しており、主要地域は揃って増加推移となり、東アジアの減少をカバーした。

東アジアの主要国向けでは、シンガポール、インドネシアは増勢推移となったが、最大市場の中国、香港、韓国、台湾、ベトナム、タイ、マレーシア、フィリピンが減少し、前年同月比 3%減（同横ばい）の 5 億 4,445 万ドルと 2 ヶ月連続の減少となった。

シェア 5%の西アジアは、サウジアラビア、アラブ首長国が共に増勢を維持し、全体として 36%増（同 18%増）の 3,966 万ドルとなった。

欧米市場も引き続き揃って好調を維持しており、シェア 9%の EU は、織物類が好調に推移し、6%増（同 20%増）の 6,247 万ドルと堅調な推移となった。一方、シェア 8%の米国は、綿類、不織布が好調に推移し、5%増（同 10%増）の 5,859 万ドルと増勢で推移した。

< 主要品目別輸出 >

これを主要商品別にみると、まず綿類の輸出は、全体として、数量で 8%増（同 4%増）、金額で 23%増（同 16%増）と好調な推移となった。

太宗の合繊綿は、数量で 8%増（同 1%増）、金額では単価の上昇により 23%増（同 16%増）と特に金額で大幅な増加となった。

この内、主力のアクリル綿は、量的には、最大市場の中国が不振推移となったが、インドネシア、イラン、欧米が健闘し、また単価の上昇もあって、数量で 8%増（同 1%増）、金額で 24%増（同 14%増）となった。

織維品輸出実績（2007年7月）

単位	2007年7月				2007年1月～7月				2006年実績			
	数量	金額		数量	金額		数量	金額		数量	金額	
		百万円	千ドル		百万円	千ドル		百万円	千ドル		百万円	千ドル
織維品総合計	ドル	90,207	741,891	101	573,916	4,770,525	108	104	942,373	8,102,550		
原料(綿)合計	トン	36,249	104,062	108	248,961	678,431	104	116	118,992	1,022,832		
スフ綿		6,398	23,817	111	42,318	152,646	120	127	25,833	222,022		
合繊綿		27,152	78,430	108	189,072	513,853	101	120	90,882	781,236		
(ポリエステル)		4,003	7,223	105	25,881	45,449	95	112	8,787	75,520		
(アクリル)		20,420	6,886	108	144,222	370,784	101	114	65,808	565,715		
糸合計	トン	10,072	8,875	86	74,621	519,788	96	107	103,131	886,798		
人絹糸		874	833	93	6,874	54,272	100	113	10,436	89,752		
スフ糸		44	58	222	186	2,490	88	120	405	3,486		
合繊長糸		8,346	6,855	88	61,558	407,726	96	108	80,070	688,416		
(ナイロン)		2,206	1,670	103	13,871	93,980	99	108	18,058	155,289		
(ポリエステル)		2,522	1,379	80	20,551	86,616	90	98	18,443	158,578		
合繊短糸		253	287	66	1,827	15,017	74	84	3,448	29,676		
綿糸		352	250	75	3,145	18,352	112	105	3,918	33,663		
織物総合計	千SM	106,802	34,346	96	673,616	209,307	96	101	366,512	3,151,180		
絹織物		555	907	91	4,143	7,062	90	88	12,682	109,036		
人絹織物		6,519	2,397	111	43,760	15,373	106	104	26,439	227,232		
スフ織物		763	374	84	5,576	2,571	96	103	4,484	38,529		
合繊長織物		56,164	13,857	97	319,876	76,750	96	106	127,729	1,098,929		
(ナイロン)		7,184	1,756	110	39,857	9,407	97	107	15,668	134,852		
(ポリエステル)		42,969	9,867	93	239,846	54,161	94	102	93,225	892,228		
合繊短織物		16,313	4,388	106	104,705	25,561	102	108	41,653	358,097		
絹織物		20,976	7,954	86	169,778	62,468	91	95	112,854	969,680		
毛織物		5,426	4,432	92	23,650	17,832	97	98	37,503	322,469		
不織布	千SM	63,931	6,406	123	411,966	40,956	119	117	62,968	541,547		
タイヤコード織物	千SM	1,794	297	99	11,308	1,913	120	124	2,872	24,684		
コーテッド織物	トン	1,759	4,404	109	12,130	31,750	115	118	46,353	398,997		
ニット生地	ドル	7,524	61,877	101	44,993	373,629	108	104	73,497	631,885		
アパレル	ドル	3,901	32,082	98	24,289	202,103	107	103	40,656	349,292		
その他	ドル	11,800	97,050	96	76,638	637,188	106	102	127,392	1,095,334		

(注) 1. 織維品総合計は、HS関税分類11部の合計。 2. 原料(綿)、糸、織物合計は分類番号50類から55類までのそれぞれの合計。

3. アパレルは61類(ニット製衣類)と62類(布帛製衣類)を合算したもの。 4. その他は、63類及び56類～59類の一部商品。

一方、ポリエステル綿は、タイが横ばい、中国、米国が後退したが、EU、マレーシアが健闘し、数量で4%増（同7%減）、金額では、単価のアップにより、14%増（同6%増）となった。

その他の合繊綿では、ピニロン綿は、主力のEUは後退したが、東アジア、米国が好調に推移し、数量で6%増（同23%増）、金額で8%増（同20%増）と数量、金額共に堅調に推移した。

スフ綿は、81%を占めるトウは数量で減少したが、詰め綿用中心のビスコース綿が米国中心に激増し、数量で11%増（同20%増）、金額で16%増（同22%増）と数量、金額共に好調な推移となった。

糸類の輸出は、数量で12%減（同4%減）、金額で8%減（同4%増）と数量、金額共に減少推移となった。

主力の合繊長繊維糸は、数量で12%減（同4%減）、金額で8%減（同4%増）となった。

その内訳は、ポリエステル長繊維糸は、中国、米国、EUが減少し、数量で20%減（同10%減）、金額で15%減（同6%減）と低調な推移となった。一方、ナイロン長繊維糸は、中国、フィリピンが減少したが、タイ、EUが健闘し、数量で3%増（同1%減）但し、単価が低下し、金額では1%減（同4%増）となった。

その他の合繊長繊維糸では、アクリル長繊維糸は、米国が健闘したが、主力のEU、東アジアが共に大きく減少し、数量で43%減（同26%減）、金額で30%減（同8%減）と大幅に後退した。

また、人絹糸は中国が健闘したが、EU、韓国が大きく減少し、数量で16%減（同横ばい）、金額で7%減（同9%増）と数量、金額共に低調な推移となった。

太宗の**織物類**の輸出は、数量で4%減（同4%減）、金額で4%減（同3%減）と数量、金額共に低調な推移となった。

織物の内訳では、中心品目の**ポリエステル長繊維織物**は、数量で7%減（同6%減）、金額で5%減（同2%減）と、数量、金額共に減少推移となった。

地域的には、全体の73%を占める東アジア向けは、台湾、シンガポール、フィリピン、スリランカが健闘したが、最大市場の中国を始め、香港、韓国、ベトナム、タイ、マレーシア、インドネシアが不振推移となり、東アジア全体としては8%減（同5%減）となった。

また、純輸出市場向けは、西アジアは、アラブ首長国、サウジアラビアが共に堅調に推移し、西アジア全体として3%増（同13%減）となった。

一方、欧米市場向けは、米国は20%増（同8%減）と久しぶりに大幅な増加となったが、EUは逆に20%減（同5%減）と大きく後退した。

ナイロン織物は、数量で10%増（同3%減）、金額で、13%増（同2%増）と、数量、金額共に2桁の増加推移となった。

シェア83%の東アジア向けは、香港が不振となったが、最大市場の中国、ベトナム、韓国が好調に推移し、全体として9%増（同6%減）となった。一方、欧米市場は、シェア6%の米国が12%減（同3%増）と減少推移となったが、同じくシェア6%のEUは109%増（同107%増）と、このところ著しい増加が続いている。

綿織物は、数量で14%減（同9%減）、金額で12%減（同8%減）と数量、金額共に前月に続き2桁の後退推移となった。

81%のシェアを占める東アジア向けは、タイ、フィリピンが好調に推移したが、最大市場の中国、香港、ベトナム、韓国、マレーシアが減少推移となり、東アジア全体として16%減（同11%減）となった。一方、欧米市場は、シェア12%の米国が14%減（同5%増）と後退したが、シェア2%のEUは36%増（同2%減）と大きく増加した。

ポリエステル短繊維織物は、数量で6%増（同横ばい）、金額で5%増（同2%増）と堅調な推移となった。

全体の56%を占める東アジア向けは、最大市場の中国、香港、ベトナムが減少し、東アジア全体として15%減(同7%減)となった。一方、シェア42%の民族衣装用の西アジアは、日本品への信頼が厚く、アラブ首長国、サウジアラビア、クエートが揃って好調に推移し、西アジア全体として56%増(同11%増)と大幅な増加となった。

人絹織物は、数量で11%増(同6%増)、金額で4%増(同横ばい)と数量、金額共に前月に続き増勢推移となった。

シェア73%の東アジアは、最大市場の香港は減少したが、中国、韓国、タイが健闘し、東アジア全体として10%増(同5%増)となった。また、シェア14%の西アジアは、アラブ首長国、サウジアラビアが揃って増加し、全体として12%増(同10%増)となった。一方、欧米市場は揃って低調で、米国は4%減(同8%増)、EUも8%減(同5%増)となった。

毛織物は、数量で8%減(同3%減)、金額で12%減(同7%減)と、数量、金額共に不振推移となった。

地域的には、東アジアが96%とほぼ全量を占めている。ベトナムは大幅な増加となったが、最大市場の中国、香港が減少し、東アジア全体として9%減(同4%減)となった。

不織布の輸出は、数量で23%増(同19%増)、金額で18%増(同13%増)と数量、金額共に好調な推移が続いている。

全体の57%を占める東アジアは、最大市場の中国を始め、香港、韓国、ベトナム、台湾、タイが軒並み大幅に増加し、全体として39%増(同26%増)となった。

一方、欧米市場は、シェア34%の米国は5%減(同10%増)と減少したが、シェア6%のEUは62%増(同24%増)と大幅増となった。

コーテッド織物の輸出は、数量で9%増(同15%増)、金額で1%減(同13%増)と数量増の金額減となった。

全体の82%を占める東アジアは、中国、香港が横ばいとなったが、タイ、台湾が伸び、全体として2%増(同13%増)となった。

一方、欧米市場は、シェア6%の米国は32%増(同52%増)、シェア5%のEUは19%増(同5%増)と、共に好調な推移となった。

ニット生地の輸出は、数量で3%増(同2%増)、金額で1%増(同4%増)と数量、金額共に堅調な推移となった。

全体の約9割強を占める東アジア向けは、主要国では、最大市場の中国、ベトナム、韓国、台湾が好調に推移、一方、香港、タイ、インドネシアは不振推移となった。

また、欧米市場向けは、米国、EU向け共に大幅な増加となった。

アパレルの輸出は、金額で2%減(同3%増)と微減推移となった。

内容的には、布帛製衣類では、外衣類は、東アジアの主要国の台湾、香港、中国、韓国、またEUは順調に推移したが、最大国の米国が大きく後退し、金額で9%減(同8%増)となった。一方、下着類は、最大国の台湾、韓国、EUは減少したが、香港、中国、米国が増加し、金額で7%増(同6%増)となった。

ニット製衣類では、外衣類は、台湾、EUが減少したが、香港、韓国、中国が増加し、金額で28%増(同1%増)となった。一方、下着類は、台湾、香港が減少したが、中国、韓国、米国が増加し、金額で10%増(同横ばい)となった。

その他二次製品は、敷物類は健闘したが、漁網類、細幅織物・紐類等が不振で、金額で4%減(同2%増)と減少推移となった。

原料(綿・糸)の輸出<綿輸出>

<綿輸出>

合繊綿、スフ綿などの綿合計の輸出は、主力のアクリル綿を始め、ポリエステル綿、ビニロン綿、スフ綿が増勢で推移し、全体で、数量で8%増の3万6,249トンと好調に推移した。また、金額は、全体的に単価が上昇し、23%増の1億406万ドルと大幅な増加となった。

輸出依存度の非常に高いアクリル綿は、全体の74%を占める東アジア向けは、インドネシアが15%増と健闘したが、最大輸出先の中国が9%減と減少したのを始め、香港27%減、タイ49%減、韓国38%減と何れも後退し、東アジア全体では11%減の1万3,465トンとなった。他市場は総じて好調で、イランが121%増の3,426トンと倍増、欧州は英国、ベルギー、ドイツが大きく伸び、169%増の497トン、米国も29%増の1,075トン、また、アフリカは南アフリカを始め、ナイジェリア、セネガル、トーゴがいずれも増勢推移となり、72%増の1,537トンとなった。

アクリル綿全体では、中国を始め東アジアは低調な推移となったが、イラン、EU、米国、アフリカが揃って好調に推移し、数量で8%増の2万420トン、また、金額は、単価の上昇により、24%増の5,663万ドルとなった。

ポリエステル綿は、最大市場の東アジアは、インドネシアが126%増、マレーシアが1%増と健闘したが、最大市場のタイが横ばい、中国が39%減と大幅に減少し、東アジア全体では、6%減の2,108トンとなった。他市場では、EUは、イタリア、フランス、英国が大きく伸び46%増の1,279トン、一方、米国は24%減の396トンとなった。ポリエステル綿全体では東アジア、米国の両市場が低調推移となったが、EUの健闘により5%増の4,003トン、また、金額は、単価が上昇しており、18%増の722万ドルとなった。

その他品目では、資材用が中心のビニロン綿は、主力のEU向けは、フランス、英国が振るわず5%減となったが、中国を中心とする東アジアが12%増と健闘したため、全体では数量で6%増の1,284トン、金額で8%増の448万ドルと、数量、金額いずれも堅調な推移となった。

スフ綿は、アセテート・トウが81%を占めているが、そのアセテート・トウは韓国、シンガポール、インドネシア、トルコ、豪州、ケニアは増加したが、主要市場の中国向けが激減、また、EU、マレーシア、南アフリカ、マレーシアも減少し、全体では、数量で6%減の5,171トン、金額では、単価のアップにより3%増の2,022万ドルとなった。

但し、スフ綿全体では、ビスコースレーヨン綿が、米国、東アジアを中心に293%増と大增勢で推移したことから、数量で11%増の6,398トン、金額で16%増の2,382万ドルと数量、金額共に好調な推移となった。

<糸輸出>

注：財務省輸出統計において、合繊長繊維系に分類される品目で、2007年から「弾性を有するもの」及び「ポリプロピレン」の2品目が新設されたことから、本年度の統計には「弾性を有するもの」の中にナイロン、ポリエステル、ポリウレタン等の長繊維系が一部含まれていると推測され、下記品目別の対前年比が整合性に欠けるものとなっている。特に、ポリウレタン長糸は新設された「弾性を有するもの」に殆んどが分類され、統計に上がっていると推測されるので、特に、ポリウレタン長糸の正確な実績は不明である。

参考までに「弾性を有するもの」の今年の輸出実績は次ぎのとおり。

2007年1月	870トン、	698万ドル	2月	850トン、	718万ドル
	3月1,544トン、	1,266万ドル		4月1,069トン、	946万ドル
	5月1,158トン、	1,016万ドル		6月1,424トン、	1,157万ドル
	7月1,085トン				

系の輸出は、主力の合織長繊維系を始め、人絹系、合織短繊維系、綿糸等が軒並み低調な推移となり、全体で数量で14%減の1万72トン、金額で8%減の7,300万ドルとなった。

主要品目の中でナイロン長繊維系は、シェア76%の東アジアは、最大市場のタイ、香港が健闘したが、中国、台湾、フィリピンは低調な推移となり、4%減の1,630トンとなった。その他では、シェア13%のEUは、ドイツ、ベルギー、ポルトガル好調に推移し113%増と著増、また、シェア4%の西アジアは、アラブ首長国が増加して100%増となり、全体では数量で3%増の2,206トンとなった。但し、単価が下落し、金額では1%減の1,373万ドルとなった。品種別では、タイヤコード用等の「強力糸」がシェア68%を占め、数量で18%増の1,491トン、一方、衣料用途用等の「その他糸」は18%減の715トンとなった。

ポリエステル長繊維系は、シェア59%の東アジアは香港、韓国が健闘したが、最大市場の中国、台湾、タイが減少し、3%減の1,621トンとなった。その他ではシェア18%の米国は64%減と激減、また、シェア12%のEUも39%減となり、全体では、数量で20%減の2,522トン、金額は15%減の1,134万ドルとなった。品種別では、「その他糸」がシェア75%を占め、17%減の1,886トン、「強力糸」は28%減の637トンとなった。

その他では、アクリル長繊維系は、米国が59%増と大幅増加となったが、主力のEUは中心市場のフランスが減少、また、ドイツ、イタリアも壊滅状況となり67%減と大幅に減少、香港、韓国、中国を中心とする東アジアも43%減となり、全体では数量で43%減の969トン、金額で30%減の556万ドルとなった。

この結果、合織長繊維系全体では、数量で12%減の8,346トン、金額は8%減の5,638万ドルとなった。

天然繊維関係では、綿糸は、香港が124%増と倍増となったが、最大市場の中国が27%減と大幅に減少し、全体では数量で25%減の352トン、金額は27%減の205万ドルとなった。この中国、香港の2カ国で全体の89%を占めている。

7月の原料輸出動向

単位：トン、千ドル、セント、%

	2007年7月				2007年1～7月			
	数量	前年 同月比	金額	単価	数量	前年 同期比	金額	単価
スフ綿	6,398	111	23,817	372	42,318	120	152,646	361
合織綿	27,152	108	78,430	289	189,072	101	513,853	272
ポリエステル	4,003	105	7,223	180	25,881	95	45,449	176
アクリル	20,420	108	56,632	277	144,222	101	370,784	257
他合織綿	2,729	116	14,575	534	18,969	114	97,620	515
人絹糸	874	84	6,850	784	6,874	100	54,272	790
合織長糸	8,346	88	56,378	676	61,558	96	407,726	662
ナイロン	2,206	103	13,732	622	13,871	99	93,980	676
ポリエステル	2,522	80	11,338	450	20,551	90	86,616	421
他合長糸	3,618	86	31,308	865	27,136	100	227,130	837
綿糸	352	75	2,054	584	3,145	112	18,352	584

出所：財務省統計

織・編物(絹・化合織・綿・毛)の輸出

7月の織物(絹・化合織・綿・毛)の輸出は、ポリエステル短繊維織物、ナイロン長繊維織物、人絹織物が好調に推移したが、主力のポリエステル長繊維織物、綿織物、また、その他織物が総じて不振で、織物トータルでは、数量で前年同月比4%減(前年同期比:4%減)、金額でも4%減(同3%減)となった。

なお、この織物トータルの中に含まれていない、ニット生地は堅調に推移、また、コーテッド織物は、数量増の金額微減となった。

市場的に見ると、織物トータルでは、主力の東アジアで、主要国の韓国が数量、金額共に前年同月を上回り好調に推移した。一方、中国、香港、ベトナム、インドネシア、マレーシアは数量、金額共に前年同月を下回り不振推移となった。なお、台湾、フィリピンは数量増の金額減、タイ、シンガポールは数量減の金額増となった。特に中国向けの停滞は、今後のわが国の輸出にとって大きな不安材料となっている。

一方、純輸出市場について、西アジアは、サウジアラビア、アラブ首長国が、数量金額共に揃って大幅な増加となり、好調を維持している。

また、欧米市場は、EUは、量的に後退したが、金額は単価のアップにより大幅増加、一方、米国は主力の綿織物の不振から、数量、金額共に減少推移となった。

1. 各品目の輸出状況

(単位:1000SM、1000\$、前年比は数量比%)

	2007年7月			2007年1-7月		
	数量	金額	前年同月比	数量	金額	前年同期比
絹織物	555	7,457	91	4,143	58,765	90
人絹織物	6,519	19,714	111	43,760	127,808	106
スフ織物	763	3,077	87	5,576	21,357	96
合織(長)織物	56,164	113,961	97	319,876	637,264	96
ポリ(長)織物	42,969	81,151	93	239,846	449,633	94
ナイロン織物	7,184	14,442	110	39,857	78,069	97
合織(短)織物	16,313	36,085	106	104,705	212,339	102
ポリ(短)織物	15,368	33,454	106	96,763	194,969	100
綿織物	20,976	65,418	86	169,778	519,575	91
毛織物	5,426	36,450	92	23,650	147,635	97
コーテッド織物	1,759	36,221	109	12,130	264,075	115
ニット生地	16,911	61,877	103	111,070	373,629	102

(注)1.ポリエステル(長)、ナイロン(長)織物は、ポリエステル、ナイロンの重量が全体の85%以上の織物。

2.コーテッド織物の数量単位はトン。

2. 品目別特記事項

A. ポリエステル長繊維織物

ポリエステル長繊維織物の7月の輸出は、数量で前年同月比7%減(前年同期比:6%減)、金額で5%

減（同 2%減）と数量、金額共に低調な推移となった。

数量で全体の 73%を占める東アジアは、主要市場では、最大市場の中国が 7%減（同 5%減）、香港 39%減（同 13%減）、韓国 13%減（同 6%減）、ベトナム 24%減（同 8%増）、タイ 5%減（同 1%減）、マレーシア 46%減（同 12%減）、インドネシア 39%減（同 39%減）と各々減少し、台湾 56%増（同 15%減）、シンガポール 5%増（同 5%減）、フィリピン 17%増（同 2%減）、スリランカ 35%増（同 35%減）と増加したが、東アジア全体として 8%減（同 5%減）と不振に終わった。

純輸出市場は、西アジア向けは、アラブ首長国が 12%増（同 13%増）、サウジアラビア 8%増（同 22%減）と両市場が健闘し、西アジア全体として 3%増（同 13%減）となった。

一方、欧米先進国市場は、米国が 20%増（同 8%減）と久しぶりに大幅な増加となったが、EU は 20%減（同 5%減）と大きく後退した。

EU の主要国別では、フランスが 45%増（同 6%減）、ドイツ 18%増（同 16%増）、イタリア 20%増（同 2%増）と各々好調に推移したが、英国が 70%減（同 20%減）、スペイン 32%減（同 23%減）、ベルギー 98%減（同 52%減）と各々激減した。

ポリエステル（長）織物の 1 - 7 月の加工別輸出を見ると、太宗の浸染品は 3%減、プリント品が 3%減、生機・晒品が 22%減と各々減少推移、一方、糸染品は 8%増となっている。

B. ポリエステル短繊維織物

7 月のポリエステル短繊維織物の輸出は、数量で 6%増（同横ばい）、金額で 5%増（同 2%増）と数量、金額共に堅調な推移となった。

市場的には、シェア 56%の東アジアと同 42%の西アジアの両地域向けでほぼ全量を占めている市場構成に変わりはないが、7 月は西アジアが大幅な増加を記録したのに対し、東アジアは 2 桁の減少と対照的な推移となった。

東アジア向けについては、主要国では、最大市場の中国が 12%減（同 8%減）と減少したのを始め、香港 9%減（同 19%減）、韓国 61%減（同 27%減）、ベトナム 14%減（同 9%増）、シンガポール 11%減（同 5%増）と軒並み低調な推移となり、東アジア全体として、15%減（同 7%減）となった。

民族衣装用中心の西アジア向けは、日本品への回帰が顕著で、サウジアラビアが 47%増（同 19%増）、アラブ首長国 61%増（同 26%増）、クエート 124%増（同 18%増）と主要国は揃って好調に推移し、西アジア全体として 56%増（同 13%増）と大幅な増加となった。

品目別にポリエステル（短）織物の 1 - 7 月の輸出を見ると、太宗の T/C 織物が 9%減、T/R 織物が 7%減となっているのに対し、100%スパン織物が 3%増、また、その他交織織物は 17%増と 2 桁の増加を記録し健闘している。

C. その他絹化合物織物

ナイロン織物の 7 月の輸出は、数量で 10%増（同 3%減）、金額で 13%増（同 2%増）と数量、金額共に 2 桁増と好調な推移となった。

全体の 83%と圧倒的なシェアを占める東アジアは、香港が 11%減（同 31%減）と減少したが、最大市場の中国が 15%増（同 3%増）、ベトナム 12%増（同 13%減）、韓国 51%増（同 6%増）と増勢で推移し、東アジア全体として 9%増（同 6%減）となった。

一方、欧米市場は、シェア 6%の米国は 12%減（同 3%増）と減少したが、同じくシェア 6%の EU は 109%増（同 107%増）と大幅な増加を継続している。

加工別の 1 - 7 月の輸出は、太宗の浸染品が 3%増、プリント品が 33%増、一方、生機・晒品は 16%減となっている。

人絹織物の 7 月の輸出は、数量で 11%増（同 6%増）、金額で 4%増（同横ばい）と数量、金額共に先月に続き増勢推移となった。

全体の 73%を占める東アジア向けは、最大市場の香港が 9%減（同 9%増）と減少に転じたが、中国が

19%増(同7%増)、韓国104%増(同50%増)と各々好調に推移し、東アジア全体として10%増(同5%増)となった。

東アジア以外の市場では、シェア14%の西アジアは、サウジアラビアが40%増(同10%増)、アラブ首長国11%増(同10%増)と増加し、全体として12%増(同10%増)となった。

一方、欧米市場は、シェア4%の米国は4%減(同8%増)、同じくシェア4%のEUも8%減(同5%増)と揃って低調な推移となった。

1-7月の素材別輸出では、全体の53%のシェアを占めるアセテート織物は1%の微増、同37%のキュプラ織物は17%増となっているが、同8%のビスコース織物は5%減となっている。

加工別では、太宗の浸染品は6%増、生機・晒品が13%増、糸染品が1%減、プリント品は47%減となっている。

スフ織物の7月の輸出は、数量で13%減(同4%減)、金額で16%減(同1%減)と数量、金額共に不振推移となった。

全体の84%を占める主力の東アジア向けは、圧倒的シェアを占める持ち帰り用中心の中国が6%減(同7%減)、香港が1%減(同89%増)となり、東アジア全体として10%減(同3%増)となった。

その他主要市場では、量的には僅少であるが、シェア7%の米国は45%減(同15%減)の大幅減、同じくシェア6%の西アジアはアラブ首長国の増加から4%増(同18%減)となった。

絹織物の7月の輸出は、数量で9%減(同10%減)、金額で20%減(同12%減)と数量、金額共に低調な推移となった。

全体の92%を占める東アジア向けは、最大輸出国のベトナムが2%増(同4%減)と健闘したが、中国が35%減(同23%減)と大幅に減少し、東アジア全体として13%減(同10%減)となった。

その他市場では、量的に僅少であるが、シェア5%の民族衣装用主体の西アジアは、サウジアラビアが増加し、全体として91%増(同22%減)となった。

D. 綿織物

綿織物の7月の輸出は、数量で14%減(同9%減)、金額で12%減(同8%減)と、数量、金額共に先月に続き2桁減と低調な推移となった。

全体の81%と圧倒的なシェアを占める東アジア向けは、主要国では、タイが6%増(同15%減)、フィリピン21%増(同12%増)と健闘したが、最大市場の中国が11%減(同14%減)、香港25%減(同5%減)、ベトナム39%減(同15%増)、韓国23%減(同15%減)、台湾13%減(同5%減)、マレーシア23%減(同10%減)と軒並み減少し、東アジア全体として16%減(同11%減)となった。

また、シェア12%の米国も14%減(同5%増)と低調な推移となった。

1-7月の加工別輸出では、太宗の糸染品は5%増と健闘しているが、浸染品は10%減、プリント品は17%減、晒品は24%減、生機品は39%減と何れも減少推移となっている。

E. コーテッド織物

7月のコーテッド織物の輸出は、数量で9%増(同15%増)、金額で1%減(同13%増)と先月に続き、数量増の金額減となった。

全体の82%のシェアを占める東アジア向けは、最大市場の中国が横ばい(同17%増)、香港も横ばい(同5%減)、ベトナムは15%減(同28%増)となったが、タイ9%増(同19%増)、台湾125%増(同106%増)と好調に推移し、東アジア全体として2%増(同13%増)となった。

一方、欧米市場は、シェア6%の米国は32%増(同52%増)、シェア5%のEUも19%増(同5%増)と共に好調な推移となった。

F. 毛織物

7月の毛織物の輸出は、数量で8%減(同3%減)、金額で12%減(同7%減)と数量、金額共に低調な推移となった。

市場的には、東アジアが96%とほぼ全量を占めている。主要国ではベトナムが65%増(同62%増)、韓国が11%増(同5%減)と健闘したが、最大市場の中国が13%減(同6%減)、香港5%減(同1%減)と減少し、東アジア全体として9%減(同4%増)となった。

G. ニット生地

ニット生地の7月の輸出は、数量で3%増(同2%増)、金額で1%増(同4%増)と数量、金額共に堅調な推移となった。

市場的には、東アジアが圧倒的なシェアを占めているが、これを主要国別に見ると、全体の62%のシェアを占める最大市場の中国が7%増(同7%増)、ベトナム6%増(同10%減)、韓国26%増(同16%増)、台湾40%増(同11%減)と好調に推移した。一方、香港は22%減(同13%減)、インドネシア19%減(同15%増)、タイ10%減(同21%減)と各々低調な推移となった。

また、欧米先進国向けは、揃って好調で、米国は54%増(同31%増)、EUは14%増(同27%増)と各々大幅な増加となった。

． 主要繊維二次製品の輸出

<概況>

繊維二次製品の2007年7月の輸出は、金額(ドル)ベース(以下同じ)で、アパレルは、最大品目の布帛製外衣が減少推移となり、布帛製下着、ニット製外衣・下着が何れも増勢で推移したが、全体では前年同月比2%減の3,208万ドルとなった。他方、その他の品目については、敷物が増加推移、漁網・その他の網・網地及び細幅織物・紐類は減少推移となった。

2007年7月の主要繊維二次製品輸出状況

単位：千米ドル、金額：前年比%

	2007年7月		2007年1~7月	
	金額	前年同月比	金額	前年同期比
布帛製衣類・付属品	18,674	92	121,636	105
外衣	12,679	91	75,190	108
下着	3,327	107	27,377	106
スカーフ・マフラー	701	83	3,965	92
ニット製衣類・付属品	13,408	108	80,967	101
外衣	5,237	128	25,901	101
下着	5,203	110	36,914	100
敷物	2,855	117	18,731	112
漁網・網・網地	3,311	97	24,509	93
細幅織物・紐類	14,781	88	101,003	95

<アパレル>

布帛製外衣：主要市場では、台湾が2%増、香港40%増、中国5%増、EU1%増、韓国64%増と増勢推移となったが、最大市場の米国が42%減と大幅な減少となり、全体として9%減の1,268万ドルと先月の増加から一転し減少推移となった。なお、この6カ国・地域で全体の94%を占めている。

布帛製下着：主要市場では、最大市場の台湾が25%減、韓国22%減、EU22%減と不振推移となったが、香港が62%増、シンガポール181%増、タイ165%増と各々著増、また、米国も5%増、中国7%増と健闘し、全体として7%増の333万ドルとなった。なお、この8カ国・地域で全体の97%を占めている。

布帛製スカーフ・マフラー類：米国が21%増と健闘したが、最大市場のアラブ首長国が3%減、サウジ

アラビア 19%減、EU 56%減と各々減少し、全体では17%減の70万ドルとなった。なお、この4カ国・地域で全体の89%を占めている。

ニット製外衣：主要市場では、最大市場の香港が37%増、韓国64%増、中国230%増、米国19%増と各々大きく増加し、台湾は20%減、EU 1%減と減少したが、全体では28%増の524万ドルとなった。なお、この6カ国・地域で全体の96%を占めている。

ニット製下着：主要市場では、最大国の台湾は1%の微減、香港7%減、EU 16%減と不振推移となったが、韓国が7%増、中国110%増、米国37%増と好調に推移し、全体では10%増の520万ドルとなった。なお、この6カ国・地域で全体の96%を占めている。

<敷物>

主要国では、最大市場の中国が6%減、台湾36%減、タイ87%減と不振推移となったが、香港が41%増、ベトナム46%増、韓国280%増、米国71%増、メキシコ30倍増、アラブ首長国31%増と各々大幅な増加となり、全体では17%増の286万ドルとなった。

<漁網・その他の網・網地>

主要国では、最大市場のベトナムが8%減、ロシア11%減、米国54%減、韓国4%減、台湾85%減と減少し、中国が139%増、EU 11%増、チリ175%増、フィリピン363%増と増加したが、全体では3%減の331万ドルとなった。

<細幅織物・紐類>

主要国では、香港が17%増、ベトナム11%増、シンガポール208%増、韓国1%増と健闘したが、最大市場の中国が10%減となったのを始め、タイ55%減、米国35%減、EU 31%減と何れも低調な推移となり、全体では7%減の1,478万ドルとなった。

2007年6月の繊維品輸入概況

1. 繊維製品計

6月の輸入は、金額が円ベースで前年同期比106.7%（前月比は89.4%）、ドルベース同99.7%（前月比は88.0%）、数量(重量)同98.4%（前月比は86.3%）となり、円金額が3ヶ月続けて増加、ドル金額および数量は微減ながら共に3ヶ月ぶりに減少した。前月比は、金額、数量(重量)ともに春夏物から秋冬物への端境期のため減少。

糸類は数量で前年同期比1.3%減と12ヶ月ぶりの減少。内訳は、人織(長)糸、その他の糸が増加、絹糸、毛糸、綿糸、人織(短)糸が減少した。織物類は同2.7%減と3ヶ月ぶりに減少した。人織(長)織物、人織(短)織物、その他の織物が増加、絹織物、毛織物、綿織物、黄麻織物、メリヤス生地が減少した。衣類は同1.2%の微減となり2ヶ月ぶりに減少。衣類を除くインテリア用品等の二次製品も同1.9%減で3ヶ月ぶりの減少となった。

前月は前年同期比で円金額が15.3%の2桁増、ドル金額も6.5%増、数量も7.3%の増加となったが、今月は円金額が6.7%増加したものの、ドル金額は0.3%減、数量も1.6%の減少となり、円安で円金額が増加した他は微減となった。なお、6月の為替相場は、前年同月比8円09銭円安の122円62銭。ドル金額の内訳を見ると、糸類が5.5%の減少、織物類も6.0%減、太宗を占める衣類は0.8%の微増、二次製品は1.1%減少し、繊維製品計では0.3%の微減となった。

2. うち糸類

- 綿糸の輸入実績は、トンベースで前月比 20.9%減の今年最低水準の輸入となり、前年同月比も4ヵ月ぶりに6%のマイナスとなった。これは、海外紡績からのオファー価額の上昇や、為替の円安、更には綿糸市況の見通し難によるものと思われる。全体の86%を占める純綿糸の輸入を前月に比較すると、国別では2位のインドが11.6%の増加ととなったものの、首位のパキスタンが23.0%、3位の中国27.0%、4位のインドネシアは35.6%とそれぞれ大きく減少となった。番手別に見ると20番手中心が25.7%減となったのをはじめ30番手中心4.1%、40番手中心25.0%、40番手以上も26.6%減と軒並み前月を下回った。糸種別に見るとカード糸が27.7%、コーマ糸も16.9%それぞれ減少となり、混紡綿糸も17.7%の減少となった。
- 毛糸の輸入実績は前年同月比重量ベース27.0%減と3ヵ月ぶりの減少となった。糸種別に見ると、紡毛糸が同15.0%減と18ヵ月ぶりの減少、太宗を占める梳毛糸も同28.1%減となった。国別では、トップシェアの中国が同20.6%減と3ヵ月ぶりに減少したのに加え、第2位のマレーシアも同33.7%減少した。この他の主要国では、インドが増加、台湾、タイ、イタリア、ペルーからの輸入は減少。
- 人織糸の輸入実績は、トンベースで人織(長)糸が前月比13.9%の減少となったが、前年同月比は4.8%の増加となり9ヵ月連続のプラスとなった。主要商品を前月に比較すると主力のポリエステル長糸が13.8%減、ナイロン長糸12.8%、量的に少なく我が国で生産していない人絹糸も25.2%のマイナスとなった。一方、人織(短)糸も主力商品のT/C, T/Rのポリエステル紡績糸が前月比6.9%減、ガムテープ用のスフ糸も14.8%、前月大幅に増加したアクリル紡績糸もその反動もあり38.9%の大きな減少となる等全体では前月比16.3%減、前年同月比も2.2%のマイナスとなった。

3. うち織物類

- 綿織物の輸入実績は、面積ベースで前月比18.0%の減少、前年同月比も4ヵ月連続マイナスの7.6%減となる低調な輸入となった。これは、為替の円安、人民元高、中国の人件費高騰のほか、輸入業者(供給者)の減少によるものと思われる。国別に前月に比較すると全体の4分の3を占める中国が18.7%減、量的に少ないが2位のインドネシアが15.1%、その他も16.1%の落ち込みとなった。品種別にみても主力商品ポプリンの27.2%の落ち込みをはじめ、金巾3.7%、粗・細布13.4%と3大商品軒並みマイナスとなった。
- 毛織物の輸入実績は、面積ベースで前年同月比19.9%減少し、9ヵ月続けて減少となった。中国からの輸入が同19.1%減と9ヵ月連続の減少、イタリアからの輸入も25.5%減となった。また、第3位のイギリスも同5.3%減で4ヵ月ぶりに減少。品種別では、紡毛織物が同20.1%減と5ヵ月続けて減少、主力の梳毛織物も同19.9%減と9ヵ月続けて減少した。
- 人織織物の輸入実績は、面積ベースで人織(長)織物が前月比5.2%増となり、前年同月比も8ヵ月連続プラスの23.8%の増加となった。商品別に前月に比較すると、量的に少ないナイロン織物がピッタリ前月並、主力のポリエステル織物が17.3%のプラスとなったものの、ポリプロピレン等其の他織物は15.9%の減少となった。国別にみると、首位でポリエステル織物中心の中国が4.6%増となったが、2位でポリプロピレン織物が多い韓国が28.9%減、3位の台湾も2.9%のマイナスとなったが、ベトナム等その他の国は30.8%の大幅な増加となった。一方、人織(短)織物は主力商品のポリエステル織物がT/C, T/R織物の落ち込みもあり7.5%減、スフ織物も8.9%の減少、全体では前月比が7.4%のマイナスとなったが、前年同月比は5ヵ月連続プラスの16.4%の増加となった。

4. うち衣類

ニット製衣類が対前年同月比（枚数）で4.1%増、布帛製衣類は同6.6%減、身の廻り品も重量ベース5.1%減少し、衣類計で重量ベース1.2%減少となった。ニット製衣類が3ヶ月続けて増加し、布帛製衣類は4ヶ月続けて減少、身の廻り品は2ヶ月ぶりに減少、衣類計も2ヶ月ぶりに減少した。

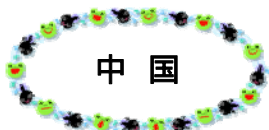
主要国別に見ると

- ▶ 中国は対前年同月比（枚数）でニット製衣類が5.0%増加し3ヶ月続けて増加、布帛製衣類は7.5%減で4ヶ月連続の減少、身の廻り品も重量ベース3.6%減で2ヶ月ぶりに減少した。今年1～6月の衣類計（重量）のシェアは90.7%で前月から0.1ポイント減（金額ベースでのシェアは82.6%で前月から0.2ポイント減）
- ▶ 韓国はニット製衣類が同2.1%増加、布帛製衣類は同28.5%の大幅減となり、ニット製衣類は3ヶ月連続で増加、布帛製衣類は14ヶ月連続で減少した。
- ▶ イタリアはニット製衣類が同25.4%減と5ヶ月続けて減少、布帛製衣類も同11.8%減少となり7ヶ月ぶりに増加した前月から再び減少に転じた。
- ▶ ベトナムはニット製衣類が同0.2%減と微減ながら2ヶ月続けて減少、布帛製衣類は同29.6%増となり3ヶ月続けて増加した。
- ▶ 商品別には、ニット製衣類ではコート、アンサンブル、ドレス、セーター、下着類が増加、スーツ、ジャケット、ズボン、スカート、アウターシャツ、スポーツウェアが減少となった。布帛製外衣類では紳士用が同9.0%減、婦人用も同6.7%減少した。紳士用では、スーツ、アンサンブルが増加、コート、ジャケット、ズボン、下着類が減少、婦人用は前月と同様にドレス、下着類が増加したものの、コート、スーツ、アンサンブル、ジャケット、スカート、ズボン、ブラウスが減少となった。

前月は数量が対前年同月比7.3%増、金額も円ベースで15.3%、ドルでも6.5%増加となったが、今月は数量が1.6%減、金額は円ベースで6.7%増、ドルは0.3%の微減となった。

中国では7月1日から増徴税の還付率が引き下げられたが、それによる影響は今月（6月）の統計上は見られなかった。

今年の上半期（1～6月）で見ると、繊維製品全体では重量ベース前年同期比0.5%、金額は円ベースで4.5%、ドルベースで0.7%それぞれ増加した。なお、上半期の平均為替レートは1ドル=120円02銭と前年同期比で約3.7%の円安となっている。また、品目別に重量で見ると、糸類が4.9%の増加、織物類も2.7%増、衣類が1.4%減少、二次製品類は0.5%増加となった。



中国

中国、2007年1-7月の繊維品貿易概況

- 輸出は21%増の880億1,095万ドルと引き続き高率の伸びを維持 -

2007年1-7月の中国の繊維品輸出は、前年同期比21%増の880億1,095万ドルと1-6月の伸びを2ポイント上回り、昨年同期の25%増には及ばないが、引き続き高率の伸びを維持している。これを月別の伸びで見ると、本年1月の伸びは前年同月比20%増、2月は同74%増と飛躍的に伸び、3月は同23%減と一転して大幅に減少し先行きが注目されたが、4月は17%増、5月は19%増、6月は26%増、7月は29%増と再び増勢傾向を強めている。7月から実施された増徴税の還付率引き下げもあり、7月以降の動向が注目されたが、その影響は今のところ数字には現れていない。

2007年7月の中国の繊維品輸出入状況

単位：1000ドル

	輸 入			輸 出			前年比
	2007年1月～7月		数量	2007年1月～7月		数量	
	金額	数量		金額	数量		
繊維品合計	25,683,011	14,738,690	95	138,077,857	88,010,950	121	
原料(綿)合計	8,183,573	4,326,412	66	1,417,518	1,085,262	148	
スフ綿	344,456	68,372	100	101,783	68,910	344	
合繊綿	1,125,033	338,254	87	337,046	252,447	147	
(ポリエステル)	341,165	127,965	80	293,652	221,141	147	
(アクリル)	687,536	192,788	90	2,505	1,745	166	
糸合計	4,328,168	1,034,734	99	6,172,372	1,212,779	116	
人絹糸	85,799	16,604	90	341,971	61,760	137	
スフ糸	96,447	15,667	88	161,167	34,900	155	
合繊長繊維糸	1,550,919	315,202	91	1,323,400	452,823	140	
(ナイロン)	755,981	135,364	85	336,401	58,965	112	
(ポリエステル)	486,182	145,689	95	666,310	323,569	151	
合繊短繊維糸	352,440	81,560	96	1,146,321	261,035	114	
綿糸	2,004,437	578,423	105	1,827,260	346,229	108	
繊維物合計	5,978,753	2,324,321	95	17,490,810	9,934,939	104	
絹織物	107,364	18,267	89	786,655	129,991	98	
人絹織物	142,986	45,442	88	35,213	22,596	107	
スフ織物	89,513	22,273	83	710,912	418,683	74	
合繊長繊維織物	2,017,757	1,048,798	95	4,894,432	3,577,875	105	
(ナイロン)	547,503	287,369	88	160,404	113,749	71	
(ポリエステル)	1,047,800	516,483	95	4,056,255	3,071,113	109	
合繊短繊維織物	780,132	319,019	102	2,979,684	2,203,728	111	
綿織物	2,183,698	796,575	101	7,020,604	3,399,557	105	
毛織物	514,391	37,053	106	560,733	60,863	106	
不織布	596,913	88,472	113	443,284	121,430	123	
タイヤコード織物	74,230	10,343	107	250,266	50,238	118	
コーテッド織物	1,075,922	130,802	104	1,428,708	393,440	128	
ニット生地	2,153,487	1,020,120	114	4,640,538	2,566,562	124	
ニット製衣料	716,671	417,755	102	44,902,907	31,337,930	138	
布帛製衣料	867,856	514,980	107	43,709,665	25,728,292	112	
その他	1,707,439	1,011,403	102	17,621,788	11,088,888	114	

出所：中国海関統計

< 地域別・国別輸出状況 >

地域別では東アジアがシェア 37%（前年同期比 10%増）、ヨーロッパが同 26%（同 17%増）、北米が同 17%（同 36%増）、西アジアが同 7%（同 46%増）、中米が同 3%（同 35%増）、南米が同 2%（同 27%増）、アフリカが同 6%（同 45%増）、大洋州が同 2%（同 13%増）の市場構成となっており、各地域共に軒並み増勢推移となっているが、特に北米、西アジア、アフリカ向けが、高い伸びを記録している。

国別では、1位 EU（146 億 5,765 万ドル：1%増）、続いて米国（123 億 6,000 万ドル：33%増）、香港（103 億 5,176 万ドル：6%増）、日本（100 億 6,321 万ドル：4%増）、ロシア（39 億 891 万ドル：80%増）、韓国（28 億 7,566 万ドル：3%増）、カナダ（24 億 8,205 万ドル：55%増）、アラブ首長国（21 億 9,778 万ドル：53%増）、シンガポール（18 億 7,539 万ドル：60%増）、トルコ（18 億 6,484 万ドル：61%増）、オーストラリア（14 億 7,765 万ドル：13%増）、南アフリカ（10 億 5,875 万ドル：38%増）、メキシコ（10 億 2,449 万ドル：12%増）の順となっている。

国別でも軒並み増加推移となっているが、東アジア向けはシンガポールを除き、香港、日本、韓国等は低い伸びに止まっているのに対し、北米の米国、カナダ、ヨーロッパのロシア、トルコ、またアラブ首長国、南アフリカが大幅な伸びを記録している。

また EU は微増に止まっているが、これは、今年から EU に加盟したルーマニア、ブルガリアが、昨年の著増から、今年は一転して激減しているのが大きな要因である。

< 品目別輸出状況 >

品目別では、中国の繊維品輸出全体の 65% を占める最大輸出品目の衣料品及び同付属品の輸出は、25%増の 570 億 6,522 万ドルと、全体の伸びを上回り、中国の繊維品輸出を牽引している。

内容的には、ニット製の衣料品及び同付属品の輸出が 38%増の 313 億 3,793 万ドル、布帛製衣料品及び同付属品の輸出は 12%増の 257 億 2,897 万ドルで、特にニット衣料品が高率の伸びとなっているのが目立っている。

衣料品の主要輸出先は、ニット製衣料品は、トップ市場は EU（41 億 8,495 万ドル：22%減）、続いて日本（41 億 4,466 万ドル：12%増）、米国（39 億 384 万ドル：78%増）、香港（29 億 4,024 万ドル：15%増）、ロシア（23 億 5,090 万ドル：142%増）、カナダ（13 億 4,273 万ドル：140%増）、シンガポール（12 億 2,317 万ドル：157%増）、アラブ首長国（9 億 8,642 万ドル：135%増）、韓国（7 億 7,594 万ドル：4%減）、カザフスタン（7 億 795 万ドル：38%増）、パナマ（6 億 7,872 万ドル：203%増）、オーストラリア（6 億 3,986 万ドル：15%増）の順となっており、米国、カナダ、ロシア、シンガポール、アラブ首長国、パナマは大幅増加、一方、EU は 2 桁の減少となっている。

布帛製衣料品の輸出先は 1 位が EU（64 億 4,868 万ドル：11%増）、以下、米国（50 億 6,480 万ドル：29%増）、日本（42 億 279 万ドル：横ばい）、香港（22 億 5,471 万ドル：1%増）、ロシア（9 億 303 万ドル：21%増）、韓国（8 億 4,643 万ドル：4%増）、カナダ（8 億 151 万ドル：12%増）、オーストラリア（4 億 8,746 万ドル：11%増）、パナマ（4 億 1,925 万ドル：31%増）、スイス（4 億 675 万ドル：57%増）の順となっている。

衣料品以外の素材輸出は、原料類（綿・糸）は好調に推移しているが、織物類は特に量的には伸び悩んでいる。

織物類の輸出は、太宗の綿織物、合繊短繊維織物は若干の増加となっているが、合繊長繊維織物が特に量的に伸び悩み、全体として、数量で 2%減の 98 億 7,786 万メートル、金額で 4%増の 98 億 7,786 万ドルと数量微減の金額微増となった。

糸類の輸出は、各品目共に増勢で推移しており、合繊長繊維糸、中でも特にポリエステル長繊維糸の

伸びが大きく、またその他の綿糸、合繊短繊維糸も増勢を維持しており、全体として数量で 19%増の 121 万 2,779 トン、金額で 16%増の 41 億 8,610 万ドルと、数量、金額共に増加推移となっている。

綿類の輸出は、天然繊維、ポリエステル綿を中心とする合繊綿、またスフ綿の輸出が共に大增勢で推移しており、数量で 45%増の 39 万 3,287 トン、金額で 48%増の 10 億 8,526 万ドルと、規模は未だ小さいが、高い伸びを記録している。

輸入は 5%減の 147 億 3,869 万ドルと低調に推移 -

一方繊維品輸入は、綿類の輸入が、綿花輸入の急減もあり大幅に減少、糸類、織物類は共に数量減の金額微増となっているが、全体として 5%減の 147 億 3,869 万ドルと低調な推移となっている。

この結果、中国の 2007 年 1 - 7 月の繊維品貿易収支の黒字額は前年同期比 28%増の 732 億 7,226 万ドルとなった。

< 地域別、国別輸入状況 >

地域別では東アジアがシェア 70% (前年同期比：1%増) を占め、西アジアが同 2% (同 43%減)、ヨーロッパが同 8% (同 19%増)、北米が同 9% (同 40%減)、中米が同 0.2% (同 31%減)、南米が同 1% (同 32%減)、アフリカが同 2% (同 46%減)、大洋州が同 7% (同 34%増) の市場構成となっており、東アジア、ヨーロッパ、大洋州からの輸入は増加しているが、北米からの減少が目立っている。

国別では、1 位日本 (20 億 6,373 万ドル：横ばい)、台湾 (19 億 4,165 万ドル：1%減)、韓国 (15 億 9,261 万ドル：1%減)、米国 (13 億 2,021 万ドル：41%減)、EU (10 億 8,144 万ドル：17%増)、オーストラリア (10 億 1,934 万ドル：37%増)、香港 (9 億 9,812 万ドル：6%減)、インド (6 億 1,266 万ドル：8%減)、パキスタン (4 億 6,515 万ドル：13%増) の順となっている。米国の急減は、綿花の輸入減が最大の要因である。

< 品目別輸入状況 >

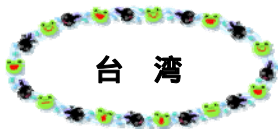
品目別輸入を見ると、綿関係では、天然繊維の輸入は米国よりの綿花の輸入が大きく減少し、また、合繊綿の輸入も低調で、数量で 34%減の 250 万 3,585 トン、金額で 23%減の 43 億 2,641 万ドルと大幅な減少となった。

糸関係は、太宗の綿糸は順調な推移となっているが、合繊長繊維糸、合繊短繊維糸は共に特に数量で低調な推移となっており、全体として数量で 1%減の 103 万 4,734 トン、金額で 2%増の 26 億 2,990 万ドルの数量微減の金額微増となった。

一方織物類は、太宗の綿織物、合繊長繊維織物、合繊短繊維織物が何れも数量減の金額増となっており、トータルでは、数量で 5%減の 23 億 2,432 万メートル、金額で 2%増の 33 億 9,831 万ドルと数量減の金額増となった。

その他品目では、ニット生地が金額で 14%増の 13 億 5,133 万ドル、コーテッド織物が 4%増の 6 億 7,077 万ドルと増勢で推移している。

また衣料品は、額は小さいが、ニット製衣料品が 2%増の 4 億 1,776 万ドル、布帛製衣料品が 7%増の 5 億 1,498 万ドルと何れも着実に増加している。



台湾の2007年(1-6月)の繊維品貿易概況

<輸出は前年比2%減の57億5,287万ドル>

台湾の繊維品輸出は、近年は韓国と同様、中国を始めとする新興東アジア諸国との競合激化、国内繊維産業の空洞化等により厳しい環境に立たされているが、台湾の通関統計によれば、2007年1-6月の台湾の繊維品輸出は前年同期比2%減の57億5,287万ドルとなっており、依然停滞を余儀なくされている。

地域的には、全体の71%を占める東アジアは2%減の41億176万ドル、シェア12%の北米も3%減の6億8,402万ドル、同6%の欧州は6%減の3億4,018万ドルと主要3地域は何れも苦戦しており、同4%の西アジアが11%増の2億2,195万ドルと唯一好調に推移している。

国別では、昨年までトップ輸出市場であった香港向けが15%減の10億5,233万ドルと大幅に減少し、代わって中国向けが6%増の11億3,916万ドルでトップ市場となっているのが注目される。以下米国(6億3,900万ドル:4%減)、ベトナム(5億8,614万ドル:12%増)、EU(2億6,509万ドル:16%減)、インドネシア(2億4,505万ドル:5%増)、日本(1億8,035万ドル:9%増)、タイ(1億5,446万ドル:3%増)、カンボジア(1億4,691万ドル:3%増)、フィリピン(1億1,791万ドル:2%減)の順となっている。

品目別輸出では、原料関係の輸出は、綿類の輸出が、数量で19%減の32万8,413トン、金額で2%減の5億6,384万ドルと数量、金額共に減少推移となった。

太宗の合繊綿は、アクリル綿は好調に推移しているが、中心品目のポリエステル綿が大幅に減少し、数量で21%減の26万4,131トン、金額で6%減の4億2,672万ドルとなった。

合繊綿の主要市場は、数量で中国、米国、ベトナム、香港、EU、イランの順で、この6カ国で数量的に全体の61%を占めている。米国、イランは、数量、金額共に大幅な増勢推移となったが、逆に中国、ベトナム、香港、EUは、数量、金額共に大きく減少している。

糸類の輸出は、数量で2%減の51万16トン、金額で2%増の11億2,865万ドルと数量微減の、金額微増となった。最大品目の合繊長繊維糸は、ナイロンは不振推移となっているが、ポリエステルが数量微減の金額増となり、全体としては、数量で2%減の51万159トン、金額で2%増の11億2,865万ドルと数量微減の金額微増となった。

2007年1～6月の台湾の繊維品輸出入状況

単位：1000ドル、%

	輸				出				入					
	2006年実績		2007年(1～6)		2006年実績		2007年(1～6)		2006年実績		2007年(1～6)		前年比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
繊維品合計		11,752,062		5,752,871		98								
原料(綿)合計	TON	791,068	1,191,678	328,413	563,841	81	98	TON	376,833	529,011	185,277	1,287,503	95	107
スフ綿	TON	115,015	184,076	45,847	87,597	89	113	TON	15,510	31,375	9,003	19,772	136	148
合繊綿	TON	638,329	920,097	264,131	426,724	79	94	TON	20,029	50,009	8,920	24,959	88	100
(ポリエステル)	TON	493,744	633,144	185,901	258,203	71	82	TON	8,204	11,919	3,030	5,003	81	92
(アクリル)	TON	132,544	254,404	69,512	143,710	104	118	TON	923	2,686	906	2,793	232	304
糸合計	TON	999,439	2,191,776	510,159	1,128,647	98	102	TON	106,006	378,731	54,444	199,662	107	111
人絹糸	TON	9,920	31,665	4,555	14,334	94	99	TON	1,995	7,889	1,196	5,451	133	153
スフ糸	TON	12,223	34,762	8,730	24,158	153	146	TON	1,015	3,469	328	970	66	56
合繊長繊維糸	TON	815,536	1,752,135	410,889	899,406	96	102	TON	53,197	232,456	26,119	122,494	101	112
(ナイロン)	TON	215,047	668,802	100,425	322,836	92	98	TON	28,880	115,788	13,795	54,198	97	98
(ポリエステル)	TON	566,933	975,236	296,369	528,842	99	107	TON	11,593	32,812	5,645	16,026	107	110
合繊短繊維糸	TON	62,735	187,538	30,003	87,625	91	88	TON	14,443	34,554	6,638	15,392	95	92
綿糸	TON	96,879	167,945	55,295	96,204	114	115	TON	33,774	94,265	19,470	53,134	122	116
織物合計		2,665,626		1,298,571		96								
絹織物	千SM	75	351	31	164	84	81	千SM	589	4,376	264	1,825	93	84
人絹織物	千SM	35,394	31,705	14,197	14,304	73	86	千SM	7,917	7,818	2,998	2,844	84	79
スフ織物	千SM	98,337	112,401	48,827	49,149	108	93	千SM	1,319	5,215	713	2,435	101	94
合繊長繊維織物	千SM	1,746,563			884,552	99	99	千SM	48,245			22,965	94	94
(ナイロン)	千SM	883,018	537,479	390,556	251,013	89	92	千SM	53,856	17,596	34,117	10,543	123	120
(ポリエステル)	千SM	1,084,012	798,984	565,759	412,202	103	102	千SM	21,597	17,488	9,153	7,176	86	80
合繊短繊維織物	千SM	315,320	279,634	136,872	125,931	82	88	千SM	94,785	28,987	41,445	15,056	75	97
綿織物	千SM	350,217	483,706	151,455	219,974	88	91	千SM	77,243	56,664	40,594	27,337	114	112
毛織物	千SM	1,324	6,555	391	1,770	73	67	千SM	1,854	8,825	981	4,237	111	100
不織布	TON	64,930	219,097	34,272	117,747	105	107	TON	17,917	74,002	8,691	35,696	92	94
タイヤコード織物	TON	32,782	131,897	17,947	73,024	119	119	TON	9,689	40,711	4,914	20,619	98	98
コーティング織物	TON	208,129	1,014,710	99,034	496,817	90	93	TON	6,190	33,880	4,072	17,069	126	88
ニット生地			1,968,306		1,003,157		101					13,115		84
ニット製衣料			789,436		331,795		93					201,708		92
布帛製衣料			369,413		167,235		87					280,096		88
その他			1,210,122		572,036		96					152,146		105

出所：台湾関係統計

合繊長繊維系の主要市場は、中国、ベトナム、香港、EU、韓国、日本の順で、この6カ国で数量的に全体の74%を占めている。ベトナム、EU、韓国、日本は数量、金額共に増加、中国、香港は数量、金額共に減少推移となった。

織物類の輸出は、金額で4%減の12億9,857万ドルとなった。

内訳は、中心品目のポリエステル（長）織物が数量で3%増の5億6,576万S M、金額で2%増の4億1,220万ドルと健闘しているが、一方、ナイロン（長）織物は数量で11%減の3億9,056万S M、金額で8%減の2億5,101万ドル、綿織物が数量で12%減の1億5,146万S M、金額で9%減の2億1,997万ドル、合繊短繊維織物は数量で18%減の1億3,687万ドル、金額で12%減の1億2,593万ドルと、何れも減少推移となっている。なおニット生地は金額で1%増の10億316万ドルと微増推移となった。

ポリ（長）織物の主要市場は、数量ベースで、香港、中国、EU、ブラジル、ベトナム、アラブ首長国、米国の順で、このうち、香港と米国向けは数量、金額共に大きく減少しているが、その他諸国は増加推移となっている。

また、衣料品の輸出は、布帛製衣料品が13%減の1億6,724万ドル、ニット製衣料品は7%減の3億3,180万ドルと各々不振推移となっている。

< 輸入も1%減の12億8,750万ドルと微減推移 >

繊維品の輸入は、素材類（綿・糸）の輸入は増加しているが、織物類、衣料品の輸入が低調で、1%減の12億8,750万ドルと微減推移となっている。

地域別輸入では、全体の68%を占める東アジアからの輸入は、2%減の8億7,110万ドル、同13%の欧州は4%減の1億6,699万ドルと減少推移となっているのに対し、同10%の北米は1%増の1億2,815万ドルと微増推移となっている。

国別では、最大輸入国は中国で6%増の2億9,636万ドル、以下EU（1億4,573万ドル：4%減）、米国（1億2,639万ドル：1%増）、日本（1億1,532万ドル：10%減）、ベトナム（8,667万ドル：8%増）、香港（7,369万ドル：37%減）、インド（6,805万ドル：13%増）、韓国（6,206万ドル：22%減）、オーストラリア（4,813万ドル：46%増）の順となっている。

品目別輸入では、綿類は天然繊維原料の輸入が中心であるが、数量で5%減の18万5,277トン、金額で7%増の2億8,996万ドルと数量減の金額増となっている。

糸類の輸入は、数量で7%増の5万4,444トン、金額で12%増の1億9,966万ドルと数量、金額共に増勢推移となった。内訳は、合繊長繊維系の輸入は、ナイロン長繊維系は減少したが、ポリエステル長繊維系の増加により、数量で1%増の2万6,119トン、金額で12%増の1億2,249万ドルとなった。その他の糸の輸入は、綿糸が数量で22%増の1万9,470トン、金額で16%増の5,313万ドルと大幅増勢で推移、一方、合繊短繊維系は、数量で5%減の6,638トン、金額で8%減の1,539万ドルと低調な推移となった。

織物類の輸入は、金額で1%減の7,444万ドルと微減推移となっている。内訳は、綿織物が数量で14%増の4,059万S M、金額で12%増の2,734万ドルと増勢推移となったが、合繊短繊維織物は数量で25%

減の 4,145 万 S M、金額で 3%減の 1,506 万ドル、またポリエステル長繊維織物は数量で 14%減の 915 万 S M、金額で 20%減の 718 万ドルと数量、金額共に何れも低調な推移となった。

一方、昨年は中国からの輸入増で大幅に増加した、衣料品の輸入は、布帛製衣料品が 12%減の 2 億 9,010 万ドル、ニット製衣料品が 12%減の 2 億 8,010 万ドルと今年に入って沈静化してきている。



インドネシア

インドネシアの 2007 年(1-3 月)の繊維品貿易概況

< 輸出は 9%増の 24 億 1,323 万ドルと好調に推移 >

インドネシアの繊維産業は、人件費、燃料費の高騰など諸経費のコストアップ、設備の老朽化、中国品の密輸入の急増等により、特に国内市場向けの悪化が懸念されているが、2007 年 1-3 月の繊維品輸出は、2005 年から枠が撤廃され、また競合国の中国には枠が再設定されたこともあり、米国向を中心に好調に推移し、前年同期比 9%増の 24 億 1,323 万ドルと好調な推移となっている。

地域別輸出をみると、シェア 42%の北米は 16%増、同 22%の欧州は 8%増、同じく同 22%の東アジアが 1%減、同 5%の西アジアは 6%増となっており、主要地域では、東アジアの微減を除き増加しているが、特に北米向けの好調が目立っている。

主要輸出国は、1 位米国(9 億 7,747 万ドル:17%増)、続いて EU(4 億 4,093 万ドル:2%増)、日本(1 億 2,747 万ドル:3%増)、トルコ(8,241 万ドル:51%増)、アラブ首長国(7,168 万ドル:6%増)、ブラジル(7,006 万ドル:51%増)、韓国(6,668 万ドル:12%増)、マレーシア(4,569 万ドル:10%増)、シンガポール(3,829 万ドル:1%増)、中国(3,611 万ドル:2%減)、香港(3,283 万ドル:21%減)、カナダ(3,279 万ドル:3%増)の順となっている。

品目別輸出を見ると、最大輸出品目は衣料品で、全繊維品輸出額の 58%を占めているが、このうち、ニット製衣料品の輸出は 11%増の 5 億 2,248 万ドル、太宗の布帛製衣料品は 9%増の 8 億 7,767 万ドルで、いずれも米国向を中心に高い伸びを示し、インドネシアの繊維品輸出を牽引している。

ニット衣料品市場のベスト 5 は、米国(3 億 2,566 万ドル:25%増)、EU(1 億 1,491 万ドル:8%減)、日本(1,388 万ドル:8%増)、アラブ首長国(1,053 万ドル:2%減)、シンガポール(848 万ドル:11%減)の順で、米国、EU向けで全体の 84%と圧倒的なシェアを占めているが、米国向けは好調推移、EUは不振と対照的な結果となっている。

布帛製衣料品市場のベスト 5 は、米国(5 億 7,974 万ドル:14%増)、EU(1 億 6,006 万ドル:4%増)、カナダ(2,041 万ドル:14%増)、アラブ首長国(1,956 万ドル:19%増)、日本(1,907 万ドル:22%増)で、ここでも米国、EU向けで 84%と圧倒的なシェアを占め、ニット衣料品同様、米国が好調に推移している。

2007年1～3月のインドネシアの繊維品輸出入状況

単位：1000ドル、%

	輸				出				入					
	2006年実績		2007年(1～3)		2006年実績		2007年(1～3)		2006年実績		2007年(1～3)		前年比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
繊維品合計		9,446,288		2,413,227		109					1,714,157		487,606	136
原料(綿)合計	TON	228,548	286,211	61,453	80,921	117	127	TON	638,181	840,080	212,955	290,000	155	155
スフ綿	TON	90,687	137,709	24,784	43,710	113	140	TON	28,919	39,236	15,962	18,787	618	378
合繊綿	TON	79,750	99,523	20,098	24,942	112	113	TON	86,089	149,341	24,259	46,356	123	144
(ポリエステル)	TON	77,440	94,989	19,698	24,514	117	126	TON	22,281	29,686	6,624	9,295	102	112
(アクリル)	TON	396	1,405	90	93	53	9	TON	59,091	109,025	16,397	34,219	135	163
糸合計	TON	819,577	1,791,253	204,364	470,896	101	109	TON	140,636	301,925	21,795	61,534	92	102
人絹糸	TON	4,883	25,419	2,755	10,701	324	244	TON	22,934	84,746	6,393	24,247	118	126
スフ糸	TON	85,112	215,859	25,042	69,511	137	156	TON	281	1,673	45	330	203	163
合繊長繊維糸	TON	327,469	587,083	80,143	153,838	101	114	TON	81,235	153,560	7,194	22,809	62	75
(ナイロン)	TON	33,988	106,476	8,772	28,965	111	120	TON	15,159	42,326	1,747	5,708	71	68
(ポリエステル)	TON	288,573	459,339	69,499	118,075	99	113	TON	58,613	82,741	3,062	8,019	40	53
合繊短繊維糸	TON	271,841	614,676	68,587	160,277	102	108	TON	6,006	11,052	1,289	2,721	104	132
綿糸	TON	129,345	344,117	27,619	75,624	75	77	TON	24,089	44,153	5,010	9,546	134	137
織物合計		1,217,339	308,484		308,484		105			194,539		43,565		124
絹織物	TON	95	776	1	49	2	22	TON	26	474	1	36	22	42
人絹織物		49,426		12,270		87				702		69		50
スフ織物		43,879		9,840		167				436		292		191
合繊長繊維織物		488,336		127,232		114				47,216		11,772		123
(ナイロン)		2,360		415		88				3,585		729		76
(ポリエステル)		178,615		57,867		156				30,052		7,098		111
(強力糸織物)		176,348		43,185		106				1,990		617		200
合繊短繊維織物		235,244		67,668		119				23,172		5,789		164
綿織物		397,994		91,259		87				114,701		23,635		117
毛織物	TON	576	754	6	9	186	17	TON	197	3,657	38	839	128	136
不織布	TON	14,514	34,664	3,473	8,527	90	98	TON	13,071	33,726	2,848	8,222	91	107
タイヤコード織物	TON	21,065	85,536	4,615	18,132	88	85	TON	11,617	45,971	2,863	11,611	93	94
コーテッド織物	TON	3,495	17,576	668	3,357	48	49	TON	15,792	20,838	3,194	4,190	130	96
ニット生地	TON	13,937	88,862	3,349	20,814	86	92	TON	13,081	71,589	2,807	16,907	129	117
ニット製衣料		2,159,239		522,475		111				29,986		8,892		189
布帛製衣料		3,374,674		877,668		109				38,767		13,534		229
その他		365,992		390,934		107				112,598		136,736		121

(注)強力糸織物は、ナイロン・ポリエステルの区分が不可

出所：インドネシア通関統計

織物類の輸出も順調で、全体で5%増の3億848万ドルとなった。

品種別では、主要織物では、主力の綿織物は13%減の9,126万ドルと不振推移となっているが、合繊長繊維織物が14%増の1億2,723万ドル、合繊短繊維織物が19%増の6,767万ドルと健闘している。

合繊長繊維織物市場のベスト5は、アラブ首長国(2,758万ドル:3%増)、EU(1,663万ドル:22%増)、サウジアラビア(1,235万ドル:39%増)、マレーシア(1,000万ドル:23%増)、日本(892万ドル:28%増)の順となっている。

また、綿織物の主要市場はEU(1,781万ドル:31%減)、日本(845万ドル:18%増)、香港(760万ドル:25%減)、トルコ(696万ドル:3%増)、台湾(693万ドル:33倍増)で、合繊短繊維織物の主要市場は、EU(1,390万ドル:4%減)、日本(937万ドル:14%増)、米国(690万ドル:419%増)、トルコ(592万ドル:100%増)、マレーシア(369万ドル:6%増)となっている。

一方、原料関係の輸出は好調に推移しており、まず、綿類は、スフ綿、合繊綿が共に増勢で推移し、全体で27%増の8,092万ドルとなった。

また糸類の輸出は、合繊長繊維系、合繊短繊維系が好調に推移し、綿糸は低調な推移となっているが、糸全体として9%増の4億7,090万ドルとなった。

< 輸入は36%増の4億8,761万ドルと大增勢で推移 >

輸入は、原料類(綿・糸)、織物類、衣料品ともに増勢で推移し、全体として36%増の4億8,741万ドルと大幅に増加している。

地域別では、シェア50%を占める東アジアからの輸入は28%増の2億4,226万ドル、シェア17%の北米は32%増の8,417万ドル、シェア11%のアフリカは78%増の5,188万ドル、シェア8%の欧州は61%増の8,417万ドル、同じくシェア8%の大洋州は38%増の3,802万ドルとなっており、何れの地域も高い伸び率となっているが、特に欧州、アフリカの伸びが目立っている。

国別の主要輸入先は、米国(8,309万ドル:32%増)、中国(6,583万ドル:38%増)、台湾(3,808万ドル:19%増)、インド(3,556万ドル:100%増)、豪州(3,062万ドル:12%増)、日本(2,505万ドル:12%増)、韓国(2,374万ドル:14%増)、EU(2,366万ドル:15%増)の順となっている。

品目別では、綿関係では、綿花の輸入が米国、インド、アフリカ諸国から急増、また、合繊綿、スフ綿の輸入も大きく伸びており、綿全体として55%増の2億9,000万ドルと大幅な増加となった。

糸関係は、合繊長繊維系の輸入が減少したが、人絹糸、綿糸の輸入が増加し、全体で2%増の6,153となった。

織物類の輸入は、太宗の綿織物、合繊長繊維織物、また合繊短繊維織物の輸入が共に増加し、全体として24%増の4,357万ドルとなった。

その他では、ニット生地は17%増の1,691万ドルと増加、一方、タイヤコード織物は6%減の1,161万ドルと減少した。

衣料品の輸入は、額的には小さいが、中国からの輸入が大きく増加しており、ニット製衣料品は89%増の889万ドル、また布帛製衣料品は129%増の1,353万ドルと、各々大幅な伸び率を記録した。



タイの2007年(1 - 6月)の繊維品貿易概況

<輸出は7%増の36億1,506万ドルと好調推移>

タイの繊維産業はパーツ高、原燃料費、人件費、金利の高騰等より、厳しい環境に直面していると伝えられるが、近隣競合諸国の中では、川上から川下まで一貫した生産体制を持つ繊維産業国としての優位性もあり、2007年1 - 6月の繊維品輸出は、前年比7%増の36億1,506万ドルとドルベースでは順調に推移している。但し、タイは現在異常なパーツ高に苦しめられており、採算は非常に厳しい状況にあると伝えられている。

市場別では、州別では、東アジア(シェア:33%)が8%増、北米(シェア:30%)が横ばい、ヨーロッパ(シェア:23%)が11%増で、この3大市場で全体の86%を占めているが、東アジア、ヨーロッパが好調に推移しているのに対し、北米が伸び悩んでいる。

国別では、主要輸出国は、米国、EU、日本、中国、アラブ首長国、ベトナム、香港、トルコ、インドネシア、シンガポール順となっており、この10カ国で全繊維品輸出の72%を占めている。

最大市場の米国向けは横ばい、EUは7%増と、欧米向けは中国に枠が再設定されたが、米国向けは、そのメリットを生かせていない状況となっている。逆に東アジア向けは、中国10%増、ベトナムが61%増、香港が4%増、インドネシアが11%増、バングラデシュが12%増、シンガポール48%増と、日本(4%減)を除き軒並み増加推移となっているのが注目される。その他では、トルコが65%増、アラブ首長国が21%増と好調に推移している。

これを品目別に見ると、タイの最大輸出品目で全体の繊維品輸出の49%を占める**衣料品**の輸出は、ニット製衣料品は、5%増の10億3144万ドルと順調に推移しているが、布帛製衣料品は最大市場の米国が不振で、3%減の7億2,655万ドルと減少推移となっている。

織物類は、太宗の綿織物が大幅に増加、また、合繊長繊維織物、合繊短繊維織物は量的には微減となったが、単価が上昇したことにより、全体として、数量で6%増の7万9,536トン、金額では19%増の5億2,421万ドルと好調に推移している。

原料関係の輸出は、**綿類**は、スフ綿は好調に推移、また、太宗の合繊綿はアクリル綿は健闘しているが、中心品目のポリエステル綿が特に数量で大幅に減少し、全体として、数量で10%減の17万5,791トン、金額で7%増の2億6,659万ドルと数量減の金額増となった。

糸類の輸出は、中心品目の合繊長繊維糸は、ポリエステル、ナイロンが共に増加推移となり、綿糸も好調で、全体として、数量で4%増の16万7,155トン、金額で17%増の4億5,982万ドルとなった。

2007年1～6月のタイの繊維品輸出入状況

単位：1000ドル、%

	輸 入						前年比
	2006年実績		2007年(1～6)		前年比		
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
繊維品合計							110
原料(綿)合計	TON	2,997,258	TON	727,507	279,195	387,533	109
スフ綿	TON	4,231	TON	15,978	2,822	11,529	122
合繊綿	TON	46,518	TON	78,951	25,141	46,626	106
(ポリエステル)	TON	28,604	TON	40,400	16,914	25,675	121
(アクリル)	TON	11,973	TON	24,034	3,793	8,554	51
糸合計	TON	112,909	TON	426,505	55,732	219,347	105
人絹糸	TON	2,567	TON	10,592	1,335	6,039	100
スフ糸	TON	315	TON	1,124	260	696	170
合繊長繊維糸	TON	82,035	TON	286,714	43,108	156,886	112
(ナイロン)	TON	29,719	TON	127,419	14,275	63,862	101
(ポリエステル)	TON	43,343	TON	103,348	22,285	57,060	112
合繊短繊維糸	TON	11,146	TON	45,486	4,035	18,646	98
綿糸	TON	14,451	TON	57,750	5,938	27,087	80
織物合計		634,199		323,971		210,056	107
絹織物	TON	76	TON	3,621	40	2,325	106
人絹織物	TON	1,216	TON	9,999	343	3,993	52
スフ織物	TON	18,087	TON	45,198	8,456	26,315	84
合繊長繊維織物	TON	28,300	TON	153,723	15,639	85,989	116
(ナイロン)	TON	3,409	TON	25,385	1,855	14,698	105
(ポリエステル)	TON	16,171	TON	88,379	8,509	45,954	109
合繊短繊維織物	TON	23,326	TON	105,402	8,880	43,078	88
綿織物	TON	47,572	TON	268,933	21,863	134,989	105
毛織物	TON	1,204	TON	26,862	670	21,399	110
不織布	TON	19,302	TON	78,646	9,907	44,099	107
タイヤコード織物	TON	21,174	TON	76,966	10,555	41,528	95
コーテッド織物	TON	13,633	TON	51,915	6,932	32,514	104
ニット生地	TON	53,570	TON	379,079	30,844	221,703	112
ニット製衣料				89,603		47,168	106
布帛製衣料				149,526		97,319	141
その他				383,312		210,056	108

	輸 出						前年比
	2006年実績		2007年(1～6)		前年比		
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
繊維品合計		6,963,823		3,615,056		107	
原料(綿)合計	TON	357,284	475,945	175,791	266,587	90	
スフ綿	TON	40,281	65,955	24,263	52,668	119	
合繊綿	TON	261,558	377,803	121,679	201,132	82	
(ポリエステル)	TON	182,672	223,737	81,796	115,230	73	
(アクリル)	TON	78,540	152,785	39,388	84,932	107	
糸合計	TON	312,079	788,640	167,155	459,818	104	
人絹糸	TON	5,689	14,286	2,119	5,660	78	
スフ糸	TON	28,428	75,985	20,876	57,931	150	
合繊長繊維糸	TON	170,976	356,829	91,788	215,942	107	
(ナイロン)	TON	25,279	92,315	14,673	55,279	122	
(ポリエステル)	TON	126,147	220,095	63,725	122,875	100	
合繊短繊維糸	TON	53,164	142,464	27,549	78,089	93	
綿糸	TON	48,556	139,724	27,528	80,148	108	
織物合計		935,189	524,214		219,347	119	
絹織物	TON	227	14,540	122	8,071	94	
人絹織物	TON	445	2,860	233	1,860	95	
スフ織物	TON	11,288	59,324	6,622	39,610	90	
合繊長繊維織物	TON	33,508	200,151	15,923	105,704	99	
(ナイロン)	TON	2,439	15,989	1,159	8,002	105	
(ポリエステル)	TON	15,340	95,543	7,618	52,234	108	
合繊短繊維織物	TON	47,564	266,083	23,354	144,922	99	
綿織物	TON	58,309	386,477	33,027	220,219	123	
毛織物	TON	79	681	27	312	131	
不織布	TON	27,734	72,264	13,612	38,926	98	
タイヤコード織物	TON	19,502	76,586	9,697	41,457	98	
コーテッド織物	TON	12,105	46,244	5,014	22,322	72	
ニット生地	TON	26,908	159,364	12,382	77,575	89	
ニット製衣料			2,085,404		1,031,442	105	
布帛製衣料			1,524,807		726,549	97	
その他			799,380		426,166	118	

出所：タイ通関統計

< 輸入は 10%増の 16 億 2,524 万ドルと 2 桁の増加 >

輸入は 10%増の 16 億 2,524 万ドルと 2 桁の増加となっている。

市場別では、州別では東アジアが 70%と圧倒的なシェアを占め 13%増、続いて欧州が同 11%を占め 3%増、同 9%の北米が 11%増となっており、東アジア、北米からの輸入増が目立っている。

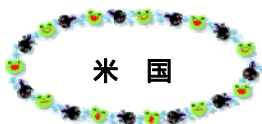
国別では、中国、台湾、EU、米国、日本、香港、韓国、インド、オーストラリア、インドネシアが 10 大輸入先で全繊維品輸入の 86%を占めている。最大輸入先の中国からの輸入は 18%増の 4 億 3,675 万ドル、続く台湾が 2%増の 1 億 7,224 万ドル、EUが 1%増の 1 億 5,677 万ドル、米国が 11%増の 1 億 4,787 万ドル、日本が横ばいの 1 億 4,174 万ドル、香港が 4%減の 8,625 万ドル、韓国が 23%増の 7,110 万ドル、インドが 64%増の 7,104 万ドル、オーストラリアが 26%減の 5,772 万ドル、インドネシアが 8%増の 5,648 万ドルとなっており、特に、中国、韓国、インドからの輸入が高い伸びを記録している。

品目別では、綿類の輸入は天然繊維原料の輸入が主体であるが、数量で 9%増の 27 万 9,195 トン、金額で 7%増の 3 億 8,753 万ドルと増勢で推移している。

糸類の輸入は合繊長繊維糸の輸入がポリエステル、ナイロン共に増加しており、数量で 5%増の 5 万 5,732 トン、金額で 6%増の 2 億 1,935 万ドルと穏やかな増加推移となっている。

織物類の輸入は主要品目では、綿織物、合繊長繊維織物が数量、金額共に増加したが、合繊短繊維織物等の輸入が減少し、全体として数量で横ばいの 5 万 6,510 トン、金額で 7%増の 3 億 2,397 万ドルと数量横ばいの金額増となった。その他では、ニット生地は、数量で 12%増の 3 万 844 トン、金額で 14%増の 2 億 2,170 万ドルと数量、金額共に 2 桁の増加推移となった。

また、衣料品の輸入は、ニット製衣料品が 6%増の 4,717 万ドル、布帛製衣料品は 41%増の 9,732 万ドルと、額は未だ小さいが、特に布帛製衣料品の輸入が、中国、EUからの輸入を中心に、大幅な伸び率を記録している。



2007 年 7 月の繊維品輸入 ～ 中国とベトナムの伸びが顕著～

米国商務省が発表した 2007 年 7 月の米繊維品輸入は、47 億 9,100 万 SME (平方メートル換算) で前年同月比 5.3%増 (1～6 月前年同期比: 2.8%増) となった。前月落ち込んだアパレルが今月は前年同月比 6.8%増と回復、ノン・アパレルの内、糸、織物は依然不振が続いているが、その他(アパレル以外の繊維製品)は好調な推移を継続している。主要国では前年同月比 23.8%増の中国、同 44.9%増のベトナムの好調な伸びが続いており、加えて今月は CBI のホンジュラス、サルバドルが回復、ASEAN のタイが久しぶりに前年同月を上回った。

米国の繊維品輸入推移(商品別)

単位：100万SME、%

	ノン・アパレル		アパレル		合 計	
	数 量	前年比	数 量	前年比	数 量	前年比
2000年	16,829	16.0	16,035	13.7	32,864	14.9
2001年	16,708	0.7	16,103	0.4	32,812	0.2
2002年	21,033	25.9	17,256	7.2	38,288	16.7
2003年	23,363	11.1	18,864	9.3	42,227	10.3
2004年	26,985	15.5	19,951	5.8	46,936	11.2
2005年	28,827	6.8	22,010	10.3	50,836	8.3
2006年	29,607	2.7	22,539	2.4	52,146	2.6
2007年	14,785	0.9	10,915	7.0	25,700	2.3
1月	2,373	5.2	1,919	13.0	4,292	2.2
2月	2,250	4.5	1,723	8.6	3,973	6.2
3月	2,341	0.9	1,797	6.5	4,138	2.2
4月	2,411	4.2	1,614	8.1	4,025	0.4
5月	2,711	0.2	1,833	9.9	4,543	3.9
6月	2,699	0.6	2,029	2.0	4,729	0.5
7月	2,634	4.5	2,157	6.2	4,791	5.3

注：前年比 は減少。 出所：米国商務省（DOC）7月の輸入。

【7月の主要地域別輸入状況】

- ビッグ4からの輸入は依然として中国1カ国だけが頑張っており、全体としては前年同月比17.3%増と好調に推移した。韓国同7.1%減、台湾同4.6%減、香港同41.5%減と軒並み不振が続いており、特に香港の減少が著しい。
- アパレルが中心のアセアンからの輸入は、ベトナムの好調が続いているのに加え、タイからが前年同月比7.1%増と本年に入って始めて前年同月を上回った。フィリピン同23.4%減、インドネシア同3.6%減、カンボジア同1.3%減と不振が続いている。アセアンからの輸入全体としては、前月のマイナスから同4.0%増へとプラスに転じた。
- NAFTAパートナーからの輸入は依然として低迷が続いている。アパレル中心のメキシコが前年同月比10.8%減、糸と織物主体のカナダは同8.2%減と、両国合わせて同9.8%の大幅な減少が続いている。
- CBIからの輸入は、ホンジュラス前年同月比8.5%増、サルパドル同8.2%増と回復を見たが、その他の国からの輸入が軒並み不振となり、全体で同1.8%減と3ヶ月連続の減少となった。
- EU(15カ国)からの輸入は、前年同月比9.4%増と大幅な伸びを見たイタリアからの輸入がその他主要国の不振を補って、全体として同1.3%増となった。
- 上記の主要地域に含まれない「その他地域」からの輸入では、好調に推移していたインドが前月に続いて前年同月比0.9%減、不振の続くパキスタンが同13.9%減、バングラデシュ同横這い、トルコ同3.1%減の推移となった。

米国の繊維品輸入推移(主要地域・国別)

単位：100万SME、%

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年 (1-7)	前年 同期比
全世界	42,227	46,936	50,836	52,149	30,491	2.8
NAFTA	7,238	7,373	6,892	5,864	3,042	14.4
メキシコ	3,926	4,101	3,883	3,425	1,828	11.2
カナダ	3,312	3,272	3,009	2,439	1,214	18.7
CBI	4,046	4,168	4,169	3,796	2,146	0.5
ホンジュラス	1,165	1,209	1,262	1,144	688	4.3
エルサルバドル	895	895	897	744	467	13.8
ドミニカ共和国	758	772	725	588	245	28.7
ビッグ4	12,633	16,128	20,595	22,537	13,901	15.1
中国	8,288	11,662	16,763	18,614	11,832	20.7
韓国	2,097	2,301	2,027	2,139	1,182	5.8
台湾	1,356	1,302	1,083	1,172	659	2.0
香港	892	862	721	613	227	35.8
アセアン	4,980	5,140	5,145	5,754	3,329	0.5
タイ	1,098	1,114	1,052	1,019	535	9.0
インドネシア	1,151	1,275	1,354	1,599	958	2.9
フィリピン	794	711	643	694	335	18.6
ベトナム	827	905	950	1,148	811	22.3
カンボジア	561	673	740	870	486	2.9
EU(15カ国)	2,059	2,063	1,912	1,698	1,011	4.6
イタリア	533	462	385	325	204	2.0
ドイツ	484	479	453	383	192	21.5
その他主要国						
パキスタン	2,690	2,970	3,290	3,567	1,891	13.9
インド	1,666	1,915	2,334	2,654	1,622	3.8
バングラデシュ	1,110	1,109	1,314	1,495	926	8.4
トルコ	1,026	982	844	725	376	11.7

注：前年比 は減少。 出所：米国商務省(DOC)7月の輸入。

組合関係の会議と催事

〔2007年8月〕

2日(木)～3日(金)

輸入(東京)「アパレル生産の実際知識」研修会(関東地区)が文化女子大学実習室で開催され、同大学生産工学研究室・正田教授を講師にアパレル生産のプロセス、縫製機器の知識、縫製不良の実際、縫製仕様、工場の見方、海外生産のための知識等について研修が行われ、組合員2日/36名、3日/38名が参加された。

3日(金)

輸入(岡山)「第93回ホームテキスタイル委員会」(吉田委員長)が開催され、委員会の名称変更の経緯 インテリアライフスタイル展出展結果 台湾TITASへの視察団派遣 中国の加工貿易保証金制度の変更 情報交換が行われた。

8日(水)

輸入(東京)「第8次組合運営に関するタスクフォース(第1回)」(五十川委員長)が開催され、議長互選 消費生活用製品安全法の説明 今後の検討課題 中国加工貿易制度改訂 EPA交渉を巡る最近の状況について説明と審議が行われた。

9日(木)

輸入(東京)「第70回アパレル委員会」(澤田委員長)が開催され、2007年度海外調査ミッション実施報告 情報交換が行われた。

22日(水)

輸入(東京)「第145回企画委員会」(須藤委員長)が開催され、正副委員長互選 EPA交渉の最近の状況 委託加工貿易管理方法変更等の中国関連諸問題 第8次組合運営に関するタスクフォース設置 通商対策委員会 業務報告の説明と審議が行われた。

輸入(バンコク)「バンコク・インターナショナル・ファッション・フェア」(8/22-26)がバンコクで開催され、繊維貿易情報センター・古宮主任研究員と事務局が視察、調査を行った。

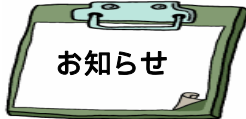
30日(木)

輸入(東京)「第1回通商対策委員会」(五十川委員長)が開催され、正副委員長互選 「最近の中国の繊維・アパレル貿易政策の変化と今後の方向について」講演(講師:中国国家発展改革委員会 中小企業司非国営企業処・顧強処長)と質疑応答が行われた。

「最近の中国の繊維・アパレル貿易政策の変化と今後の方向について」講演会(講師:中国国家発展改革委員会 中小企業司非国営企業処・顧強処長)が虎ノ門パストラルホテル会議室で開催され、組合員約70名が参加された。

31日(金)

輸入(大阪)「最近の中国の繊維・アパレル貿易政策の変化と今後の方向について」講演会(講師:中国国家発展改革委員会 中小企業司非国営企業処・顧強処長)が輸出繊維会館BMホールで開催され、組合員約70名が参加された。



繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と

「保険期間延長手続き」について

別表に掲げる保険申込書の「保険責任期間」が、平成19年10月末日に終了しますので延長を必要とするものがありましたら、必要書類を添付の上、組合に申請してください。保険責任期間が「6ヵ月」延長されます。

記

- * 平成19年4月に新規提出された決済条件が、「前受け」のもの
- * 平成18年10月に新規提出された決済条件が、「前受け」以外のもの

(注) 当初の保険責任期間は「前受け」6ヵ月、「前受け以外」12ヵ月となっております。

1. 提出期限：平成19年10月22日(月)
2. 提出書類： 貿易一般保険包括保険(繊維品)
保険期間延長依頼書.....2通
(用紙は事務局で準備しています。)
延長を必要とする包括保険申込書のコピー.....1通
3. 提出先:総務部(☎06-6201-1832)

なお、延長手続きのFAXによる申込みも可能です。(FAX:06-6201-1814)
保険期間終了の保険申込書番号は以下の通りです。

前受けに係る2007年4月度受付保険申込書番号

受付局区分 記号	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 7	101858 ~ 102422	100847 ~ 100994	100041 ~ 100059
	503005 ~ 503792		

前受け以外に係る2006年10月度受付保険申込書番号

受付局区分 記号	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 6	105376 ~ 106260	102639 ~ 103001	100209 ~ 100227
	510000 ~ 511211		

包括保険(訂正内変期間通知)」について

今般、独立行政法人日本貿易保険より下記の通り連絡ありましたので、ご通知いたします。

本店と異なる国に所在する支店が発行するILCで決済される場合の「保証国」の取扱いについて

掲記につきましては、包括保険ご利用の皆様におかれましては既にご承知のこととは存じますが、特にイランにつきましては事故の蓋然性が高まっているケースがございますことから、再度ご確認いただきたくお願い申し上げます。

- 「保証国」は、ILC発行銀行の本店か支店かいずれかの所在する国のうち、『国カテゴリー』が悪いほうの国とするのが原則ですが、包括保険の場合には、本店の『国カテゴリー』のほうが悪くとも、支店の所在国を「保証国」とする選択が可能です。
ただし、この場合にあつては当該本店の所在国に係わるてん補事由による損失については、てん補されません。
(「貿易一般保険包括保険(組合/2年未満案件)の引受基準について」[別紙2]
「貿易一般保険包括保険(企業総合)の引受基準等について」[別紙3]
「貿易一般保険包括保険(技術提供契約等)のうち、2年未満案件の引受基準について」
[別紙1] 仕向国及び支払国等の取扱い 参照)
- 従いまして、イランの銀行の外国支店発行のILCであっても、船後のイランリスクのカバーが必要であれば「保証国」をイランとして保険申込みしてください。
今般のイランに係る国連制裁も「本店の所在国(イラン)に係わるてん補事由」にあたりますので、ご選択に際しては十分にご注意下さい。
- なお、この選択はお客様の任意であることから、保険申込み後に選択を変更することは逆選択にあたるため原則として受付けておりません。
ただし、国連制裁の取扱いについては理解の齟齬が生じやすいことから、今回、改めてご説明し、誤解のあった場合には(「保証国」をイランとする)修正の手続きをとって頂ける期間を特別に設けることになりました。(ただし、当初お申込時点のイランの引受基準に合致しない条件の案件は修正できませんので、ご了承下さい。)
- 日本貿易保険にて9月7日までに受付けたものまでを対象と致しますので、修正をご希望の方はこの期間中に『訂正内変』のお手続きをお願い致します。
『訂正内変』では、当初よりイランを「保証国」としてお申込み頂いた場合と同額の保険料を頂戴いたしますので、払込み済み保険料との差額の追徴が生じますことにご注意ください。

ご不明な点がございましたら、以下にお問い合わせ下さい。

日本貿易保険 営業第一部 業務管理G 関 Tel : 03-3512-7664
引受2G 大井 Tel : 03-3512-7668

お知らせ

- 2007年10月の輸入通関手続相談窓口開設日 -

2007年10月の輸入通関手続相談窓口は下記要領により開設します。
申告手続、品目分類、関税評価、暫8手続等々通関業務諸問題について
ご相談の向きはご連絡下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 開催日 2007年10月10日(水)及び10月24日(水)
2. 場所 日本繊維輸入組合 東京本部
3. 時間 午後1時より午後5時まで
4. アドバイザー 片山 喬次

(元東京税関関税評価部門特別価格審査官)

5. 連絡先

Tel 番号 03(3270)0791

Fax 番号 03(3243)1088

E Mail 0023@jtia.or.jp(片山)

なお、事前の面談申込みや相談窓口開設日以外のお問合わせ、
ご質問につきましては、事務局がお取次ぎ致しますので、本件
事務局担当：国信までご連絡下さい。

以上